

2歳児  
りんご組

## “たのしいね♪” ごっこ遊びへの取り組み

絵本を読んでもらうことが大好きなりんご組。ストーリーのあるおはなしも楽しめるようになり、毎朝の絵本の時間を楽しみにしています。特に繰り返しのあるおはなしが大好きで、同じ場面が出てくると、すぐに真似っこ遊びが始まります。『おおきなかぶ』を読むと、体を揺らしながら、一緒に“ウントコショ！ドッコイショ！”絵本の登場人物たちと一緒に、掛け声を掛けていました。すぐにおはなしの世界に入り、“つもり”で遊ぶことができるのは、2歳児ならではの感覚です。

最近のお気に入り…『おおきなかぶ』『おおかみと7ひきのこやぎ』『ねずみのでんしゃ』です♪



動物の耳のついたお面をつけると、自然に体が動き、すぐになりきって遊び始めます！

クマは力強く、ネコはしなやか。ウサギは飛び跳ね、ネズミは小さくちょこまかと。鳴き声はもちろん、仕草や表情まで変わる子ども達。一人一人が思うイメージを表現しているのを見てるととても楽しいです♪

自分たちが持つ小道具も、自分達で作りました。畑の水やりを使うジョウロにスズランテープの水を入れてあります。手を使うこともだんだんとうまくなり、片手で容器を押さえ、片手でテープを細い口から詰めています。

『できた！』すぐにまた、ごっこ遊びの始まり！水やりだけでなく、シャンプーごっこやジュース屋さんにもなりました。道具一つで、子ども達の遊びがどんどん広がっていきます。



茶色の絵の具で塗りつぶし、“土のお布団”を作りました。慎重に塗り始める子。大胆に塗っていく子。まずお絵描きを楽しんでから、塗りつぶす子…。それぞれの楽しみ方があるようで、『もう1回！もう1回！』と、いろいろな方法を試しながら楽しんでいました。最後には、“筆をたくさん持った方が早く塗れる”ということに気付いたようで、なんと4本使い！束ねて持って塗っていました！子ども達の気付きは、“なるほど！”と思うものばかりです。



道具作りや表現遊びなど、楽しみながらごっこ遊びに取り組んできました。それぞれが、得意なところで力を発揮しています。大きな声で掛け声を掛けたり、表情豊かに遊んだり、気の合う友達と同じことをするだけで嬉しかったり…。一人一人の楽しんでいるポイントはそれぞれです。ごっこ遊びの時間は短いですが、それぞれのイキイキとした姿を見ていただければ、と思います！